

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社山形銀行（証券コード:8344）

### 【据置】

長期発行体格付 格付の見通し	A 安定的
-------------------	----------

### ■格付事由

- 山形市に本店を置く資金量2.9兆円の地方銀行。県内シェアは預貸金（ゆうちょ銀行除く）とも3割台後半とリーディングバンクとして高いプレゼンスを有している。長期発行体格付は、地元での堅固な事業基盤、良好な貸出資産の質、相応の資本充実度などを反映している。課題とみていた収益力は改善が進んでいる。一方、市場部門で抱えるリスクは依然として大きい上、有価証券全体で評価損を抱えている。今後の市場リスクのコントロールや中核的な資本水準の動向などに注目していく。
- 収益力はおおむね格付に見合う水準まで改善している。コア業務純益（投信解約損益等除く）はボトム期の24/3期50億円から26/3期128億円まで増加し、ROA（コア業務純益ベース）は同期間で0.1%台半ばから0.4%程度まで上昇した。貸出残高の堅調な推移や預貸金利回り差の拡大、保有債券の積極的な入れ替えに伴う有価証券利回りの上昇などが、比較的短期間で大幅な増益と収益性の改善に寄与している。今後は人的資本への投資や本店建替などにより経費が膨らむ見通しであるが、預貸収支と有価証券運用収益の拡大が続くことで、コア業務純益は堅調に推移していくとJCRはみている。
- 貸出資産の質は良好である。金融再生法開示債権比率は1%前後と低水準で推移しており、保守的な引当方法の採用などにより危険債権に対する保全が厚い。要注意先債権は総与信対比で少なく、分類率も極めて低い。与信集中度合いはやや高いが、大口先の多くは東京都内の優良な上場企業である。近年強化しているストラクチャードファイナンスについては資金用途に応じて与信限度を設定するなど慎重に推進している。資産の健全性と厳格な与信運営などを考慮すると、与信費用は今後も抑制された水準で推移していくとJCRはみている。
- 市場部門で抱えるリスクは大きい。預証率は約3割と比較的高く、投信の保有残高が多いため、価格変動リスクが大きい。円建債券にかかる金利リスクも従前より縮小しているが比較的大きい。当行は有価証券ポートフォリオの再構築を掲げ、評価損を抱えている投信や円建債券などの売却を戦略的に進めており、一定の効果が出ているが、引き続き国内金利の上昇など市況の変化に伴う損益と財務への影響に留意する必要がある。
- 資本充実度は格付相応である。調整後連結コア資本比率は9%程度とAレンジに見合う水準で推移している。今後も、貸出残高の増加やバーゼルⅢ最終化の完全実施などがリスクアセットを押し上げる要素となる。評価損が拡大する可能性にも留意する必要があるため、中核的な資本水準の動向に注目していく。

（担当）木谷 道哉・孕石 望

### ■格付対象

発行体：株式会社山形銀行

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年7月2日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩  
主任格付アナリスト：木谷 道哉
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)、「銀行等」(2021年10月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社山形銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル